

## 前後期課程合同白樺花いっぱい運動（5月11日）

白樺地域の方々が大切に続けている「白樺花いっぱい運動」、附属釧路小学校の時代から、本校の2年生が地域の仲間としてお手伝いをさせてもらっています。

今日は、2年生と8年生が共に「土おこし」に汗を流しました。「土はふかふかにした方がいいんだよ」「肥料をよく土と混ぜるんだよ」…などと親切にお話してくれる後期課程のお兄さん・お姉さんのお話を真剣に聞き、「お花が顔を出しやすくなるといいな」「花いっぱいになるといいな」「種まきもがんばりたいな！」と活動への思いを深めていく子供たちの姿が見られたようです。

異年齢集団の関わりを通して、「リーダーシップ・フォロワーシップ」を発揮し合うこと、地域の方々との触れ合いのよさや地域特有の取組の価値に触れ、ふるさとに愛着を感じる事…などは、義務教育学校だからできることであり、「そんな子供に育ててほしい」という私たちの願いでもあります。

今度は、地域の方々との「種まき」が予定されています。地域の「もの・こと・ひと」の「ピース」、たくさん見付けてきてほしいです。



## 避難訓練（5月10日）

今年度は、年間を通して「防災・安全」について子供たちと考える機会をもち、自分の身を守るために自分で判断して行動する力を育てるように指導を計画しています。

早速4月の学活では、災害時の行動の基本や、登下校時のルールが何のためにあるのかを考えました。

今回の避難訓練は「地震⇒火事」の災害が起きた際の実践です。どの学年も、素早く整列し、「お・は・し・も」を守り、集合場所のポンプ室でも、お話をせず立派でした。初めて避難訓練を経験した1年生もよくがんばっていました。

この訓練の様子だけを見ると、「花丸！」です。しかし、「避難訓練をしっかりする」ことは本当の目的ではありません。例えば日常の廊下歩行、駐車場の歩き方、バスの車内での過ごし方など、様々な場面で「自分」や「仲間」の身を守る行動が当たり前になってはじめて「身に付いた」といえるのかもしれません。

「自分の身は自分で守る」・・・例えば駐車場等の過ごし方や不審者に遭遇した時にどうするかなど、ご家庭でも話題にさせていただけると幸いです

